

■ チェコ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団 (Czech Virtuosi Chamber Orchestra)



～プレスリリース～

2010年11月より、指揮者の平井秀明氏がチェコ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団の首席客演指揮者に就任しましたので、お知らせいたします。同楽団は、1997年にチェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団、チェコ国立ブルノ歌劇場管弦楽団の首席奏者を中心として結成され、平井秀明氏が首席指揮者(創立指揮者兼客演指揮者)に就任しました。当初定期演奏会継続を模索する一方、当時共産主義体制から民主独立直後の政情不安定の煽りを受け、フリーランス主体の楽団に方針転換しました。その後、欧州を中心にした幅広い活動とともに着実に評価を高め、今日ではチェコを代表する室内管弦楽団としての地位を確立しました。

平井氏は2000年に活動拠点を日本に移し、東京フィル、新日本フィルなどをはじめとする国内主要オケや新国立劇場オペラ劇場などに度々客演し高い評価を得ました。2009年チェコ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団とのプラハ公演を成功に導くなど客演指揮者として良好な関係を続けておりましたが、チェコ国立ブルノ歌劇場モーツァルト・ホールでの定期演奏会シリーズ開始に伴い、このたび再び同楽団の要請により首席客演指揮者に就任し、来シーズンより同シリーズなどを指揮する予定です。

さらに、2011年夏には、オーストリア・アニフ市よりチェコ・ヴィルトゥオーゾ管とともに招聘され、「ザルツブルク音楽祭」開催中に、すでに東京、プラハ、キャンベラなど国内外各地で再演を重ね、高い国際的評価を得ている自作オペラ「かぐや姫」のザルツブルク、アニフでの両公演を指揮することが決定いたしました。

2010年11月

(株)ミリオン・コンサート協会